

文化財の保護事業等への寄付を実施 ～京都市、京都市景観・まちづくりセンター、京都伝統産業交流センターへ支援～

公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金（所在地：京都市右京区、理事長：齋藤成雄、以下 当基金）は、京都市の文化財保護に協力するため、京都市へ250万円、公益財団法人京都市景観・まちづくりセンター（以下 京都市景観・まちづくりセンター）へ50万円を寄付しました。12月16日に京都市役所（京都市中京区）にて寄付受納式が執り行われ、理事長の齋藤より松井孝治京都市長、高田光雄京都市景観・まちづくりセンター理事長へ寄付金の目録を贈呈しました。



寄付受納式（左から高田京都市景観・まちづくりセンター 無鄰庵庭園
理事長、松井京都市長、齋藤当基金理事長）



京町家（リ・ブラン京都ラグゼ）

寄付金の内訳

1. 市指定・登録文化財の修理 100万円
2. 「国名勝 無鄰庵庭園」の池流れの護岸整備（後期） 150万円
3. 京町家の保全・継承に係る改修助成 50万円

この寄付は、2018年2月に京都市、京都市景観・まちづくりセンターと締結した文化財保護事業等の実施に関する三者連携協定に基づいて行われたもので、今回で8回目となります。

無鄰庵庭園は施主山縣有朋の指示に基づいて、近代日本庭園の先駆者とされる作庭家、庭師七代目小川治兵衛により作庭され、国の名勝に指定されています。せせらぎを縁取る護岸石は、無鄰庵庭園の本質的な価値を構成する重要な要素となっています。現在、流水による護岸石の背面の浸食や植物が干渉している箇所などが見受けられており、護岸を傷める原因を対策し、庭園の良好な保存のための護岸整備に今回の寄付金が活用されます。

また、京都の伝統産業に関わる技術の継承と未来の担い手育成への取り組みを支援するため、公益財団法人京都伝統産業交流センター（以下 京都伝統産業交流センター）へ50万円の寄付を行う予定です。

この寄付は、2023年11月に京都市、京都伝統産業交流センターと締結した文化財の保存修復等を通じた京都の伝統産業支援等に関する連携協定に基づいて行われるもので、今回で2回目となります。

子どもたちを対象とした伝統工芸体験を実施しており、2023年度はお寺やみこしに使われる「^{かざり}銚金具」、貴重な掛軸や襖を守る「京表具」の体験会が開催されました。2024年度は「唐紙」「京仏具（漆塗り）」の体験会を3月に開催される予定で、会の運営や若手技術者の育成に寄付金が活用されます。当基金は、これからも京都の文化財保護活動に協力していきます。



銚金具銅板打ち体験



京表具の道具の説明

以上

[本件に関するお問い合わせ]

公益財団法人日新電機グループ社会貢献基金 事務局

E-mail : sczaidan@nissin.co.jp